



比布中央学校だより

子育てを楽しむ

校長 三浦 秀也

今日で2学期が終わり、明日から25日間の冬休みです。実り多き学校生活を送ってほしいとして始まった2学期でした。一人一人、しっかり成長が見られました。皆さんいかがでしょうか。学校以外の目、視点で子どもを見ることも大切です。親の目、祖父母の目、地域の目などです。育ちの速さはまちまちで、その子なりの速さがあります。どの子も確実に成長していますので、認め励ましてあげてください。

子どもの成長は親にとってうれしいことではありますが、全てが親の思い通りにはならないものです。

『這えば立て 立てば歩めの親心 わが身に積もる 老いも忘れて』

皆さんは親になるということに対して、どのようなイメージをもったでしょうか。母になった日、父になった日を思い出してみましょ。忘れてしまいました？

うれしかった、責任を感じた、全く実感がわかなかった……。我が子を初めて抱いたときは、感動した、ずっしりと重たかった、意外に軽かった、ぐねぐねして抱くのが難しかった、小さくて落としそうだった……。様々な思いがあったことでしょう。ただただ愛おしかったのではありませんか。悪戦苦闘する毎日で、子どもの成長と共に親としての自覚が徐々に芽生えていったのではないかと思います。

そうこうしているうちに、はいはいするようになり早く立ってくれと願い、立つようになったら歩いてくれと願い。「しゃべった」「寝返りした」「すわった」「立った」「歩いた」と大騒ぎ。わが身に積もる老いも忘れて、子どもの成長を一心に願っていた大切な時間がありましたよね。でも、立った、歩いたでは終わりません。可愛い可愛いばかり言っていられなくなりますね。

発達に応じて子どもとの距離を変えていくことが大切だと説く、「子育て四訓」を紹介します。子どもの成長時期に合わせて、親が少しずつ距離を取るものの大切さが書かれています。

乳児はしっかり肌を離すな

幼児は肌を離せ 手を離すな

少年は手を離せ 目を離すな

青年は目を離せ 心を離すな

心配や不安を最小限に押さえる最も簡単な方法が「保護」です。その行き過ぎが「過保護」です。お分かりですね。過度な干渉や保護は子どもが自ら考え、自ら決める力を奪っています（分かっちゃいるけどやめられない、全く気づかないなど、難しいところがあります）。

生きていれば大変なこともあるでしょうが、今を肯定的に生きることが大切だとも思います。ぜひ、楽しみながら子育てしてほしいと思います。子育ての責任はあくまでも親にあるということをお忘れずに。

それぞれの家庭や地域でよい年末年始を迎えていただきたいと思います。この1年、たいへんお世話になりました。来年もよろしくお願いたします。

4年生防災学習

4年生の社会科の学習で防災学習を12月12日に実施しました。上川総合振興局や役場総務課、いづみ会の方々や駐在所の方々にお手伝いいただきながら、学習を行いました。災害発生時に身を守る方法や、避難所での生活についてクイズを交えながら説明を受けました。その後、新聞紙スリッパの作成、ダンボールベッドを作成する体験等を行いました。



5年生インクルーシブ教育

12月14日(木)の3校時に、5年生が総合的な学習で、オンラインによるインクルーシブ教育プログラムを行いました。今回は、聴覚障害者でデフフットサル選手の折橋正紀さんとZoomで交流しました。「共に生きる」ために自分たちができることや、どのように交流を深めていけばいいのかを考えるよい機会となりました。



7年生上級学校体験報告会

12月13日(水)の6時間目に7年生による、上級学校体験報告会が行われました。これは、11月13日(月)に7年生が旭川市立大学を訪問し、大学での勉強や大学に進む目的について学習したり、コミュニケーションの方法などを体験したりしてきた内容をまとめて発表したものです。当日は、わかりやすく堂々と発表する姿が見られ、8・9年生も感心していました。



保育園との交流

くるみ保育園年長児と1年生の交流が12月7日に行われました。1年生の生活科の学習で作成したおもちゃを使って、年長組の園児に楽しんでもらおうという企画でした。園児たちは楽しく遊び、1年生も少し緊張気味ながら、遊び方を説明したり、お世話をしたりすることができました。



心に響く道徳講話

12月15日(金)に、後期課程の生徒を対象に、講師に星 功基さんをお招きし、心に響く道徳講話を行いました。星さんは慶応義塾大学在学時に、佐藤雅彦研究室でピタゴラススイッチ等の制作に関わった方で、午前中はグループに分かれてピタゴラ装置の作成、それを受けて、午後に講演をいただきました。午前中の作成では、どのグループも工夫しながら装置を作成し、時間が足りないくらいがんばっていました。午後の講演の中では、ピタゴラススイッチの裏話や苦勞した話を聞き、その中で積み重ねや試行錯誤の大切さについて生徒は学ぶことができたと思います。



職員室が1つになります。

今年に入り工事を行っていた新職員室が完成しました。冬休み中に引越しを行い、3学期からは前期課程・後期課程の教職員が1つの職員室で仕事をするようになります。それに関わり、いくつか連絡があります。



①電話番号について

3学期からは、現在の後期課程の電話番号(85-2145)が代表番号になります。また3学期からは、前期課程・後期課程どちらの教職員も電話に出ますので、お電話の際は今まで通りお子様の学年と氏名をお知らせいただけますようお願いいたします。

②玄関について

3学期からは、何か用事があって来校された場合は、基本的に職員室のある現在の前期課程玄関へ来ていただけますようお願いいたします。なお、後期課程の生徒のお迎えや行事の場合は、後期課程側の玄関も使用します。その場合はお知らせします。

12月23日(土)~27日(水)の連絡について

新職員室の移転に伴う工事により、12月23日(土)~27日(水)の間は、学校の電話が使用できなくなります。この期間に緊急に連絡がある場合は、マチコミのお休み連絡機能を使用(後期課程も使用できるようにします)するか、比布町教育委員会へ連絡をお願いいたします。

明日から冬休みです。

明日12月23日(土)から1月16日(火)まで25日間の冬休みとなります。学級で配付しました「冬休みの心得」や下記のことを参考に、安全で楽しい冬休みが過ごせるようにご協力をお願いします。

【交通事故の防止】

- 道路への飛び出しはしない。特に冬道は見通しが悪いので、左右の安全を確かめてから横断する。

【冬の事故防止】

- 道路の雪山の周辺や屋根の下、氷の張った湖沼や河川など危険が予想される場所を避ける。
- スキー・スケートや雪遊び、そり遊び等を行う場合には、危険な滑走をしたり立ち入り禁止場所に入ったりしない。

【インターネットトラブルの防止】

- インターネットなどは保護者の責任で利用する。
- 家庭のルールを守って使用する。

【公共施設利用のマナーについて】

- 進んで挨拶し、マナーを守って利用する。

【悩み相談窓口】

- 様々な悩み相談の窓口があります。困ったときは一人で悩まず、だれかに相談してみましょう。下のQRコードを読み込むことで相談窓口の一覧が見られます。

(小学校用1~2ページ目、中学校高校用3~4目ページになっています)



1月の予定

1日(月)	元日、学校閉庁日(～3日)
8日(月)	成人の日
9日(火)	冬休み学習支援(後期)
10日(水)	冬休み学習支援(後期)
16日(火)	職員会議
17日(水)	3学期始業式 9年学年末テスト 交通安全街頭指導
18日(木)	CRTテスト(後期) 冬休みチャレンジ展(前期)
19日(金)	英語検定、委員会(前期)
22日(月)	7・8年生スキー授業
23日(火)	CRTテスト(前期)
24日(水)	2年生スキー授業 9年生スキー授業 放課後パトロール(前期)
25日(木)	CRTテスト(前期) 7・8年生スキー授業
26日(金)	クラブ、貯金日(前期) 1年生スキー授業
29日(月)	職員会議、5・6年生スキー授業
30日(火)	参観日(1～6、8年懇談) 貯金日(後期)

冬休み中の学校への連絡について

冬休み期間中に連絡がある場合は、電話かマチコミのお休み連絡機能(冬休み中は後期課程も利用可)で学校へご連絡ください。また、12月29日から1月3日の6日間は学校閉庁日となります。学校閉庁日に緊急に連絡する必要がある場合も、マチコミで連絡いただくか、比布町教育委員会へご連絡ください。